



郡山市議会

# 新政会

しんせいかい

だより

VOL. 36

## 令和8年 郡山市議会 6月定例会報告



### 6月定例会の概要

令和8年度郡山市議会6月定例会は、6月15日から6月30日までの16日間にわたり開催されました。定例会初日に市長から、「物価動向や地域経済に与える影響を注視しつつ、物価高騰対策等の国の政策と歩調を合わせ、市民生活、地域経済の動向に間断なく連動させるため、引き続き、迅速な情報収集と的確な対応に努める。」旨の表明がありました。

令和8年度6月補正予算の概要については、「令和8年度当初予算編成方針」等を継承しつつ、本年4月に選ばれるまち推進課が新設されたことに伴う「選ばれるまち」関連施

策推進を加速させる取り組み、及び「新たな行政課題や需要への対応」の2つの項目に整理し、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、時宜を捉え今後必要となる予算編成として、一般会計9億886万円の増額、特別会計1,245万5千円の減額が開会日に計上され、これら予算議案3件のほか、条例議案等22件および、最終日の本定例会にて追加提案された国の重点支援地方交付金に関連した補正予算1件を可決するとともに、人事案件3件、議会案2件についても可決同意しました。

### 新政会議員紹介（連絡先） ご意見をお気軽にお寄せください



顧問(4期)  
廣田 耕一

生活福祉常任委員会  
郡山市監査委員  
日和田町字南原2-111  
☎・FAX 024-958-1101



会長(4期)  
石川 義和

建設環境常任委員会  
台新2-4-11  
☎・FAX 024-953-6062



副会長(3期)  
折笠 正

総務財政常任委員会  
田村町下道渡字坂ノ下65  
☎・FAX 024-955-3913



(4期) 栗原 晃

文教経済常任委員会  
議会運営委員会  
議会改革特別委員会(委員長)  
亀田1-24-11  
☎ 024-938-4151  
FAX 024-924-0141



(3期) 良田 金次郎

生活福祉常任委員会  
湖南町赤津字南町4172  
☎ 024-983-2914  
FAX 024-953-2088



幹事長(3期)  
會田 一男

建設環境常任委員会(委員長)  
議会運営委員会  
郡山地方広域消防組合議員  
本市の特性を活かした選ばれるまちづくり特別委員会  
西田町木村字池ノ上18  
☎・FAX 024-983-9957



(2期) 福田 文子

総務財政常任委員会(副委員長)  
郡山地方広域消防組合議員  
本市の特性を活かした選ばれるまちづくり特別委員会  
堂前町6-5  
☎ 024-922-1313  
FAX 024-922-8312



(1期) 遠藤 利子

議会運営委員会(副委員長)  
生活福祉常任委員会  
広聴広報委員会  
都市計画審議会  
議会改革特別委員会  
喜久田町早稲原字明神脇26  
☎・FAX 024-958-4262



(1期) 富樫 賢太郎

文教経済常任委員会  
郡山地方広域消防組合議員  
議会改革特別委員会  
富久山町久保田字  
大久保76-1たんぼぼC202  
☎・FAX 024-911-9224

# 6月定例会の主な「一般質問」

## 一般質問

質問者：折笠 正 議員



◀実際の映像も  
ご覧になります

### 田村町における産業廃棄物最終処分場建設の問題について

**Q** 法整備・制度改正に向けた市の取り組みについて

**A** 現行の廃棄物処理法上、集中立地を調整する仕組みや事業者による住民説明を、実効的に担保する制度が十分とは言えず、地域の皆様の切実な声が制度に反映されにくい状況にあると認識している。

市は昨年9月に副市長や市職員が環境省を訪問して制度改正について協議したほか、4月には椎根市長が県市長会議で制度改正の必要性を訴え、東北市長会の要望議案として採択された。5月20日には椎根市長が環境省を訪れ担当局長に直接要望した。

今後も環境省との協議の継続や地方分権改革提案制度を活用し、不安を抱えておられる住民の皆様の声に真摯に耳を傾け、その思いを置き去りにすることなく地域の切実な声に寄り添いながら粘り強く取り組んでいく。

## クマ対策について

**Q** ドローンの活用について

**A** 市街地に出没したクマの追跡・監視体制の強化策として、赤外線カメラ搭載ドローンの配備等に必要な予算217万円計上した。

当該ドローンは、赤外線により視認困難な藪の中や夜間の監視ができるほか、スポットライトによる照射や、スピーカーによる威嚇音を発する機能も備えており、速やかに人の生活圏外へクマを追いつぶる手段としても活用できる。

今後も関係機関と緊密に連携し被害防止につながる新たな技術の調査・研究など、様々な角度からクマ対策を推進し、市民の皆様の安全・安心の確保に努める。

【その他の質問】 ● 選ばれるまちの推進に向けた施策の展開について ● 子育て支援について ● 部活動指導教員について



## 一般質問

質問者：會田 一男 議員



◀実際の映像も  
ご覧になります

### 自転車利用者の安全啓発について

**Q** 自転車の運転にはヘルメットを着用する努力義務がある、手信号もしっかりと出して周囲の車や歩行者に自分の意図を伝える必要がある。本市の自転車利用者に対する交通ルールの遵守と安全運転の意識を高めるための啓発について伺う。

**A** 自転車は、誰もが利用できる身近な移動手段であるからこそ、利用者一人ひとりが交通ルールを正しく理解し、遵守する安全意識が重要である。自転車事故抑制のため、ヘルメット着用 of 努力義務化や、青切符制度の導入など、自動車運転と同様のルールが導入された。

これらの新たなルールが、市民の皆様に着実に浸透し、安全確保に繋がるよう、関係機関や交通団体等との協働により啓発を継続して実施している。

街頭活動、さらには「広報こおりやま」への特集の掲載や市政広報番組での放送などメディアを通じた周知も行っている。

引き続き警察や交通団体等と連携のもと、関係機関を通じての周知や交通安全教室での啓発にも取り組み、あらゆる世代の自転車を利用する、市民の皆様の交通安全意識の更なる向上に努めていく。

【その他の質問】 ● 中古農機具等マッチング事業について ● 山菜等の出荷制限について ● 人口減少と少子化について ● 災害時における非常通信体制と市民への情報伝達手段について



## 一般質問

質問者：富樫 賢太郎 議員



◀実際の映像も  
ご覧になります

### ゾーン30やゾーン30プラスの整備実績について

**Q** 本市におけるゾーン30及びゾーン30プラスの整備実績について伺う。

**A** ゾーン30は、平成24年度から平成30年度までに、富田中学校周辺ほか、8箇所の区域が指定され、警察によりゾーン30の規制標識や路面標識などが整備されたところである。また、ゾーン30プラスは、令和5年度に神明町・桃見台地区、令和6年度には日和田町高倉地区を、道路管理者及び警察が設定し、当該地区においては、道路管理者によりクランク形状が連続する「シケイン」や、道路の幅員を部分的に狭くする「狭さく」などの物理的対策を実施したところであり、警察においても、ゾーン30プラスの看板や路面標識などを整備したところである。

### ゾーン30プラスの今後の整備について

**Q** 本市として、ゾーン30プラスの今後の整備について、どのように取り組んでいくのか伺う。

**A** 昨年11月22日に、大成小学校周辺地区を対象とした住民説明会を開催し、地域の皆様との合意形成を図り、本年3月6日に、鳴神地区をゾーン30プラスに設定したところである。

当該地区においては、本年度、大成小学校前の交差点部において、車道を歩道の高さにかさ上げし、車道をハンプ構造にすることで自動車の走行速度の低減を図る「スムーズ横断歩道」の整備を実施する予定となっている。

今後においても、引き続き、警察をはじめとする関係機関との連携を図り、生活道路における安全・安心な交通環境の確保に努めていく。

【その他の質問】 ● 中東情勢に伴う資材価格高騰や納期遅延への対応について ● 防災・減災の取り組みについて ● 熱中症対策について ● 観光誘客につながる取り組みについて



# 6月定例会で可決された主な事業

令和8年4月 選ばれるまち推進課 スタート

**注目！ 選ばれるまち推進課の“ミッション×3”を加速！**

「選ばれるまち郡山」の実現に向けて、移住定住・ふるさと納税・シティプロモーションを力強く推進する各種施策を拡充します。

**選ばれるまち推進課のミッション**

- 「郡山を選ば人や企業を増やす」事業に特化
- 若者、移住者、企業等の「外からの流れ」を創出

**郡山を動かす！ 補正予算で“ミッション×3”を加速！**

| ミッション① 移住・定住促進事業                                     | ミッション② こおりやま応援寄附金事業                                   | ミッション③ ティア・D・エーション推進事業                                    |
|------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| ・移住相談・イベントを通じた交流機会創出<br>・郡山ファン獲得による関係人口拡大<br>1億959万円 | ・首都圏でのPRや企業・団体へのPR<br>・庁内を挙げた返礼品開発・掘り起こし<br>1億2,167万円 | ・SNSやインフルエンサー等による情報発信<br>・住民参画型ア・D・エーションイベント開催<br>2,654万円 |

**当初**

- ➡ **ブースト1** 転出者属性に応じたア・D・エーションと意向分析による政策立案
- ➡ **ブースト2** ふるさと納税に係る発信力強化や全庁的推進体制の構築
- ➡ **ブースト3** 認知度向上やシビックプライド醸成の更なる促進

**新** 転出者アンケート＆プロモーション

**新** 各種ふるさと納税フェア等出展・庁内向け講演会開催

**新** 高速道路カントリーサインリニューアル (選ばれるまち推進課)

物価高騰に対する緊急対策 (6月補正予算追加提案)

物価高騰から**地域経済**と暮らしを支える追加対策 2億6,699万円

財源区分：重点支援地方交付金、一般財源等 (1億7,212万円) (9,487万円)

～物価高騰に対応した切れ目のない**地域経済**支援～

令和7年度及び令和8年度において実施中の事業 (27億1,924万円)

| 市民・事業者 (約13億円) | 個人・家計等の生活者支援 (約12億円)    | 事業者への支援 (約2億円)                   |
|----------------|-------------------------|----------------------------------|
| 水道基本料等 家計支援金   | ①産児教育世帯 子育て世帯 児童税・高齢者世帯 | 中小企業買上げ 飼料価格 畜産高騰 近畿施設光熱費 子どもの食費 |

**☆ 観光関連事業者支援(重点支援) 令和8年度追加実施事業 (2億6,699万円)**

| 1 市内旅館等宿泊支援事業 (文化スポーツ観光部)                                 | 1 観光バス              |
|-----------------------------------------------------------|---------------------|
| 1 市7,885万円                                                | 1 観光バス 150台分        |
| 市内観光施設への宿泊者に対し、1人125,000円以上の宿泊につき2,000円をクーポン贈呈する。         | ・市内観光施設宿泊者 約65,000人 |
| ①観光客の「また来て。」割と併用した場合、最大5,000円割引 (福島県3,000円割引・郡山市2,000円割引) | ・タクシー 575台分         |
| 1人1宿泊あたり2,000円 割引                                         | 令和8年9月頃～            |

**☆ 地域交通・運送事業者支援(重点支援)**

| 2 公共交通事業者支援事業 (都市振興部)                                     | 2 タクシー            |
|-----------------------------------------------------------|-------------------|
| 2,200万円                                                   | 1台あたり 70,000円 支給  |
| 原油価格や物価高騰の影響により厳しい経営環境にある市内の路線バス事業者及びタクシー事業者に対し、給付金を支給する。 | 20,000円 支給        |
| 3 運送事業者等支援事業 (農商工部) <th>3 タクシー</th>                       | 3 タクシー            |
| 6,614万円                                                   | 1台あたり 50,000円 支給  |
| 原油価格や物価高騰の影響により厳しい経営環境にある市内の運送事業者に対し、給付金を支給する。            | 10,000円 支給        |
|                                                           | 自動車運転代行 7,500円 支給 |

**主な緊急対策**

- 電気・ガス 約5千円/1世帯 (7月～9月) 重点支援地方交付金追加 1,000万円- 特別高圧電力 1,875円/kwh (7月・9月) 2,375円/kwh (8月) 1万5千円/1世帯等

令和8年9月頃～

(政策開発部)

国民健康保険税率等を改定

～国民健康保険事業 (国民健康保険特別会計)～

国民健康保険特別会計における本算定を行い、令和8年度税率等の改定のほか、地方税法施行令の改正を受け、課税限度額及び軽減判定所得を改定します。

令和8年度税率等、課税限度額及び軽減判定所得

| 区分       | 基礎課税 (医療) 分         | 後期高齢者 支援金等分 | 介護納付金分   | 子ども・子育て支援 納付金分 (前設) P14 |
|----------|---------------------|-------------|----------|-------------------------|
| 所得割      | 6.0% (△1.3%)        | 2.9%        | 2.2%     | 0.3%                    |
| 均等割      | 23,100円             | 8,000円      | 10,500円  | 1,300円                  |
| 18歳以上均等割 |                     |             |          | 100円                    |
| 1人あたり    |                     |             |          |                         |
| 平等割      | 17,000円 (△1,400円)   | 6,400円      | 5,300円   | 800円                    |
| 課税限度額    | 670,000円 (+10,000円) | 260,000円    | 170,000円 | 30,000円                 |

軽減判定所得

低所得者層の負担軽減のため、軽減判定所得を法定まで引き上げる

- ・2割軽減 43万円 + (57万円 + 1万円) × 被保険者数 + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) 以下
- ・5割軽減 43万円 + (31万円 + 0.5万円) × 被保険者数 + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) 以下
- ・7割軽減 43万円 + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) 以下 (※改正なし)

(国民健康保険課)

| 会計名  | 令和8年度      |               | 前年度6月         | 対前年度6月 |
|------|------------|---------------|---------------|--------|
|      | 補正額        | 累計            | 累計            | 増減率    |
| 一般会計 | 11億7,100万円 | 1,427億3,561万円 | 1,424億3,879万円 | 0.21%  |
| 特別会計 | △1,246万円   | 1,024億6,278万円 | 1,036億1,401万円 | △1.10% |
| 合計   | 11億5,854万円 | 2,451億9,839万円 | 2,460億5,280万円 | △0.35% |

(6)トピックス～こう変わります、国民健康保険税～

国保 本年度の国民健康保険税のポイント

1 保険税負担の軽減

モデル世帯の負担が軽減

令和8年度 412,000円

令和7年度 433,100円

2 地方税法施行令の改正

①高所得者へ応能分の負担

課税限度額を法定まで引き上げ

②低所得者層の負担軽減

2割軽減、5割軽減の軽減判定所得を法定まで引き上げ

3 子ども・子育て支援金制度

何のための制度？

A 子育て支援を拡充するため、高齢者を含む全ての世代や企業の皆様から支援金を負担いただく制度です。

何に使われるの？

A 児童手当の拡充、妊婦のための支援給付、育児給付の充実、「こども輝く未来」など、法律で定められた施策に使われます。

(国：こども家庭庁ウェブサイトより) (国民健康保険課)

常任委員会報告

文教経済

栗原晃、富樫賢太郎

令和8年6月定例会において、当委員会に付託された議案の主なものは、原油価格・物価高騰対策「公共交通事業者・運送事業者等への支援」のうちこおりやま中小企業活性化事業や市内旅館等宿泊支援事業「こおりやま開拓クーポン」などであり、当委員会に付託された案件すべてを原案のとおり可決しました。

なお、当委員会は令和8年度PDCAサイクル事業に「こおりやまスポーツイノベーション事業（スポーツコンテンツの高付加価値化）」を選定し、事業進捗の確認を行っていくこととしました。また、請願第33号「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書は、審査の過程で様々な意見を交わし議論した結果、全会一致で採択すべきとなりました。

建設環境

石川義和、會田一男

令和8年6月定例会において、当委員会に付託された議案の主なものは、原油価格・物価高騰対策「公共交通事業者・運送事業者等への支援」公共交通運行支援事業2,200万円などであり、当委員会に付託された案件をすべて原案のとおり可決しました。

なお、当委員会が令和7年度PDCAサイクル事業に選定した「駅前広場施設改修事業」は本定例会において令和7年度末事業進捗の報告を行い、本事業は事業計画に基づき適正に行われたと評価いたしました。なお、令和8年度PDCAサイクル事業選定は、駅前広場施設改修事業を令和7年度に引き続き選定しました。

生活福祉

廣田耕一、良田金次郎、遠藤利子

令和8年6月定例会において、当委員会に付託された議案の主なものは、生活保護施行事務費や国民健康保険事業などについて審査し、当委員会に付託された案件すべてを原案のとおり可決しました。

また、当委員会が令和7年度PDCAサイクルに選定した「こども誰でも通園支援制度」等の進捗報告が行われ、各事業が事業計画に基づき適正に実施されたと評価しました。なお、令和8年度のPDCAサイクル事業は、「Z世代地域活躍推進事業」を選定し、事業進捗の確認を行っていくこととしました。

総務財政

折笠正、福田文子

6月25日は当委員会付託議案の審査が行われ、「予定外退職者の内訳について」、「安積行政センター太陽光パネル設置費減額補正理由について」、「小中学校気化熱冷風機81台設置について」、「選挙時の人件費について」などについて質疑応答が交わされ、原案どおり可決されました。26日は請願「地方財政の充実・強化を求める意見書」の審査とPDCAサイクル事業選定（令和8年度分）を行いました。

令和8年度PDCAサイクル事業

- ①消防団管理事業・消防力整備事業
- ②公共施設最適化・減免の適正化
- ③選ばれるまち推進課の各事業

特別委員会の中間報告

○議会改革特別委員会

本委員会は3月25日、4月27日、5月25日に開催され、「質問のあり方」、「通年議会の導入検討」など、審議項目として10の項目を設定し検討を重ねました。これまでに代表質問・市政一般質問の議員個人の持ち時間見直しや、当局が再質問時に質問者に対して趣旨を確認できる仕組みなどについて、話し合いが行われました。

○本市の特性を活かした選ばれるまちづくり特別委員会

本委員会は3月25日、4月27日、5月25日に開催され、音楽・文化、スポーツに係る取り組み、移住・定住促進に係る取り組みの現状と今後の取り組み内容について担当部局より説明を受けました。また、関係団体代表者を参考人として招致し、意見聴取を実施することを確認しました。

各種研修の受講報告

新年度に入り、各種研修を受講しました。

○地方議員研究会主催「令和の地方議会に求められる議員力アップ研修」（2026年4月10日）

生成AIを活用した「議員活動の基礎」および「議会質問の作り方」を受講し、生成AIの利便性について学習しました。

○令和8年度市町村議会議員研修「社会保障・社会福祉～地域共生社会の実現に向けて～」

（2026年5月14日～15日）

「地域共生社会の課題と展望」や「人材不足時代の介護を支えるDXの可能性」、「孤立を生まない地域づくり」など、地域共生社会の実現に向けたテーマで学習しました。

○地方議員研究会主催「議会制度と質問の作り方×財政の見方」（2026年7月6日）

「議会の流れや質問づくりの手順」など基礎的な内容のほか、財政の基礎について学び、財政の全体像や流れ、予算決算の読み方などを学習しました。



市議在職10年以上の表彰を受けました

6月定例会初日、議場において、良田金次郎、折笠正、會田一男の各議員は、全国市議会議長会から市議会議員在職10年以上の表彰を受けました。

今後も、「選ばれるまち」「暮らしの充実・笑顔になれるまち」を目指し、市民生活の安全、福祉の増進に取り組んで参ります。

編集後記

6月定例会は、6月15日から30日までの16日間の日程で行われました。市職員の中には、4月の異動や昇格により担当部署が変わられ、初めての議会となった方もおられます。議員にもその空気が伝わり、お互い爽やかさと良い意味での緊張感ある議会であったと感じました。7・8月は、気温の上昇と台風による被害が危惧されます。被害への備えと、熱中症予防に細心の注意を払ってお過ごしくください。（遠藤利子）